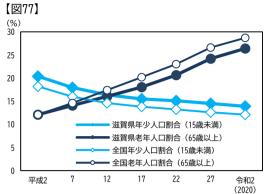
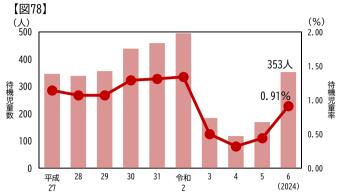
# 健康・福祉

# ■年少人口と老年人口割合の推移



「国勢調査」 総務省統計局(各年10月1日現在)

# ■保育所等待機児童数と待機児童率の推移



「保育所等関連状況取りまとめ」 厚生労働省・こども家庭庁 (各年4月1日現在)

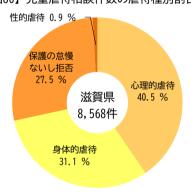
# ■児童虐待相談件数

【図79】児童虐待相談件数の推移



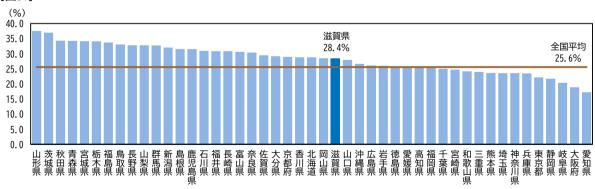
県子ども家庭支援課(令和5年度)

## 【図80】児童虐待相談件数の虐待種別割合



県子ども家庭支援課(令和5年度)

# ■小学校の児童数に占める放課後児童クラブ登録児童数の割合 (図81)



放課後児童クラブ登録児童数:「令和6年放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況」 こども家庭庁(令和6年5月1日現在) 児童数:「学校基本調査」 文部科学省(令和6年5月1日現在)

滋賀県の年少人口割合は1920年は36.0%であったが、1970年には23.1%、2020年には13.9%まで低下した。 これに対し、老年人口割合は1920年は6.5%、1970年は8.9%、2020年には26.4%となった。

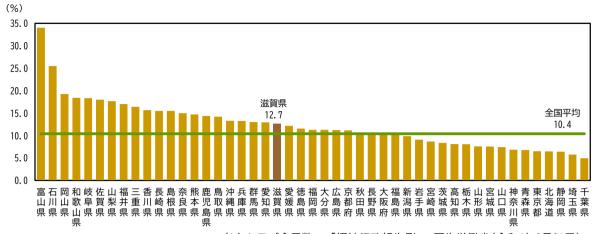
国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」によると 老年人口は2045年には約450,000人、35.5%となる見込み。【図77】

令和6年の保育所等待機児童率は全国第1位。全国平均は0.09%。【図78】

児童虐待相談対応件数を年齢別にみると、小学生以下が6,193件で全体の72.2%を占める。 虐待者は実母が最も多く5,268件で全体の61.5%、実父が2,826件で33.0%。【図79】【図80】

# ■老人クラブ

【図82】65歳以上人口に占める老人クラブの会員割合

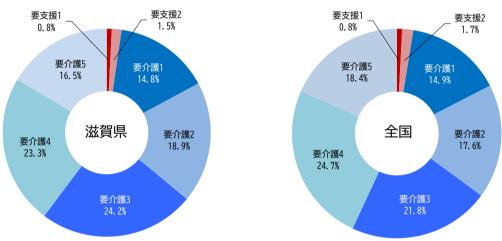


老人クラブ会員数:「福祉行政報告例」 厚生労働省(令和6年3月31日)

人口:「人口推計」 総務省統計局 (令和5年10月1日)

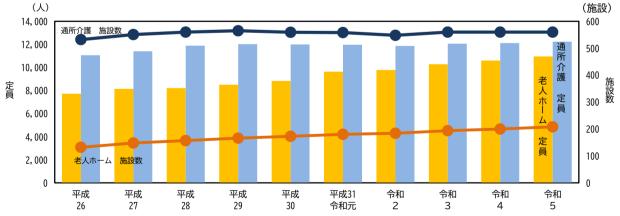
### ■介護

【図83】介護保険給付額の割合〈令和5年5月~令和6年4月審査分〉



「介護給付費等実態統計」 厚生労働省(令和5年度)

【図84】老人ホームと通所介護 (デイサービス) の施設数・定員の推移



老人ホーム:各年3月31日現在、通所介護:各年10月1日現在 県医療福祉推進課

滋賀県の「要支援」「要介護」の保険給付額は、それぞれ24億34百万円、1,028億28百万円。 全国の「要支援」「要介護」の保険給付額は、それぞれ2,686億12百万円、9兆9,951億12百万円。 なお、金額には、月の途中で要支援から要介護、要介護から要支援に変更となった者を含む。【図83】

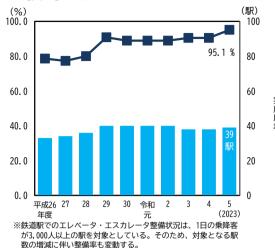
滋賀県の令和5年3月31日現在の老人ホームは208施設で、定員数は10,950人である。 また、令和5年10月1日現在の通所介護施設は560施設で、定員数は12,233人である。【図84】

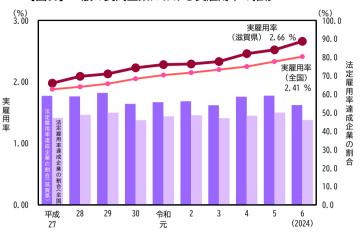
# ■バリアフリー化 (福祉のまちづくりの推進)

【図85】 鉄道駅でのエレベーター・エスカレーター整備状況

# ■障害者雇用

【図86】一般の民間企業における実雇用率の推移



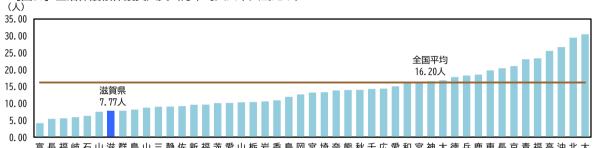


「障害者雇用状況の集計結果」 厚生労働省滋賀労働局 (各年6月1日)

# ■生活保護

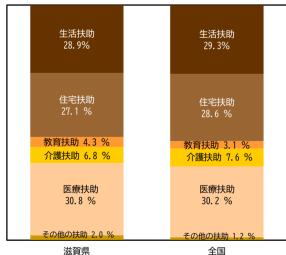
【図87】生活保護被保護実人員(月平均人口千人当たり)

県交通戦略課



「統計でみる都道府県のすがた 2025」 総務省統計局 (令和4年度)

#### 【図88】生活保護扶助の種類別人員割合



※「その他の扶助」は「出産扶助」「生業扶助」「葬祭扶助」の合計。

■国民年金

【図89】国民年金の受給件数の推移



※「障害基礎年金」には旧法の障害年金、「老齢基礎年金」には 旧法の老齢年金を含む。

日本年金機構大津年金事務所

「被保護者調査(年次調査)」 厚生労働省 (令和4年7月末日現在)

> 扶助の延べ人員は滋賀県で32,245人、全国で6,020,442人。 前年と比べてそれぞれ0.4%、0.9%減少した。【図88】

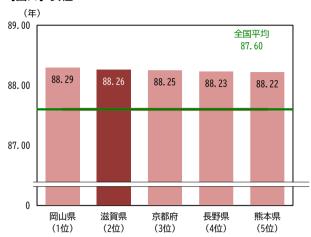
> > 令和5年度の給付金額は、

遺族年金および寡婦年金が20億7630万1千円、「障害基礎年金」が215億9671万円、 通算老齢年金が4億335万3千円、「老齢基礎年金」が2845億7146万円。【図89】

## ■平均寿命



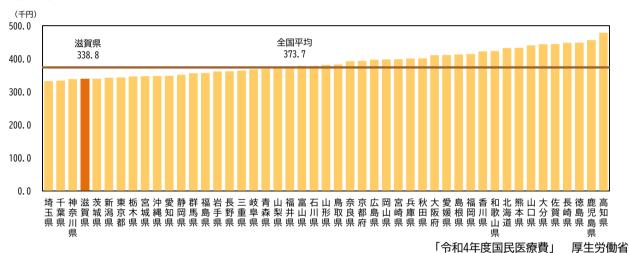
#### 【図91】女性



「令和2年都道府県別生命表」 厚生労働省

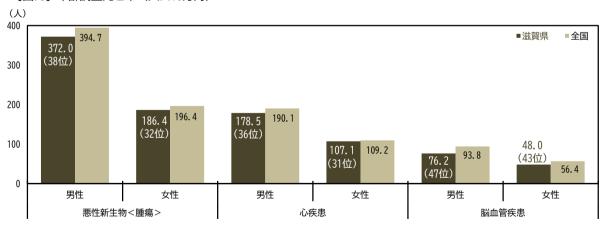
## ■国民医療費

#### 【図92】1人当たり国民医療費



### ■3大死因による死亡率

【図93】年齢調整死亡率(人口10万対)



「令和2年都道府県別年齢調整死亡率の概況」 厚生労働省

男性の平均寿命で、最も長い滋賀県と最も短い青森県では3.46年の差があるのに対し、 女性の平均寿命は、最も長い岡山県と最も短い青森県でも1.96年しかない。【図90】【図91】

1972年(昭和47年)の国内総生産に対する国民医療費の比率は3.52%であったが、 2022年(令和4年)は8.24%となった。【図92】

都道府県別に死亡数を人口で除した死亡率で比較すると、各都道府県の年齢構成の差により、 高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向がある。異なる地域間で 死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率を「年齢調整死亡率」という。【図93】